

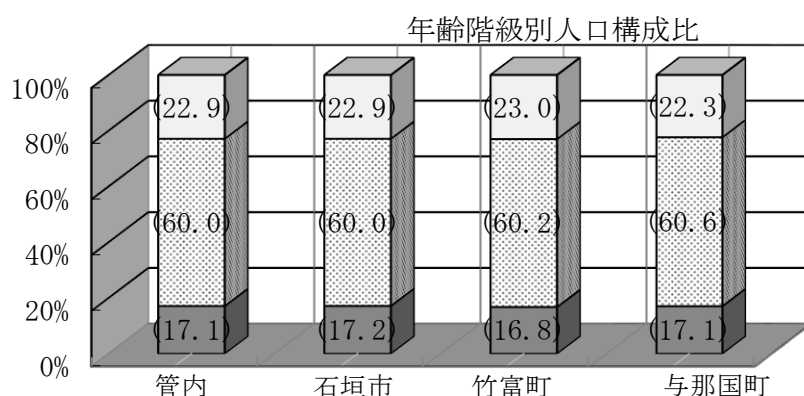
## 第 2 総務企画班

1 管内及び沖縄県の人口  
(1) 世帯数および人口

(令和3年9月30日現在)

	世帯数	人 口			年齢階級別人口		
		総数	男	女	年少人口 (0～14歳)	生産人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
管 内	28,393	55,048	27,767 (50.4)	27,281 (49.6)	9,428 (17.1)	33,027 (60.0)	12,593 (22.9)
石垣市	24,961	49,050	24,621 (50.2)	24,429 (49.8)	8,417 (17.2)	29,408 (60.0)	11,225 (22.9)
竹富町	2,496	4,329	2,246 (51.9)	2,083 (48.1)	726 (16.8)	2,608 (60.2)	995 (23.0)
与那国町	936	1,669	900 (53.9)	769 (46.1)	285 (17.1)	1,011 (60.6)	373 (22.3)

出典：八重山管内世帯数・人口、「住民基本台帳」(各市町)より ※ 下段は構成比(単位：%)



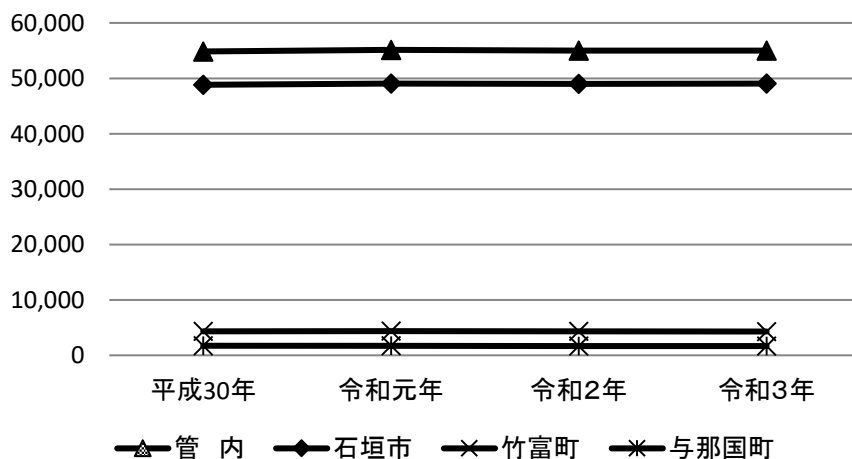
八重山管内3市町の老年人口の割合が22%を超えており、年々高齢化が進行して、超高齢化社会になっている。

■年少人口 (0～14歳) ■生産人口 (15～64歳) ■老年人口 (65歳以上)

(2) 人口の年次推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
沖縄県	1,448,101	1,454,184	1,458,839	1,459,886
管 内	54,847	55,136	54,994	55,016
石垣市	48,836	49,054	48,986	49,050
竹富町	4,305	4,368	4,312	4,297
与那国町	1,706	1,714	1,696	1,669

出典：沖縄県人口、「沖縄の統計(令和3年10月1日)」(沖縄県統計資料WEB)より。  
管内人口、「住民基本台帳データ(令和3年9月30日)」(各市町)より。

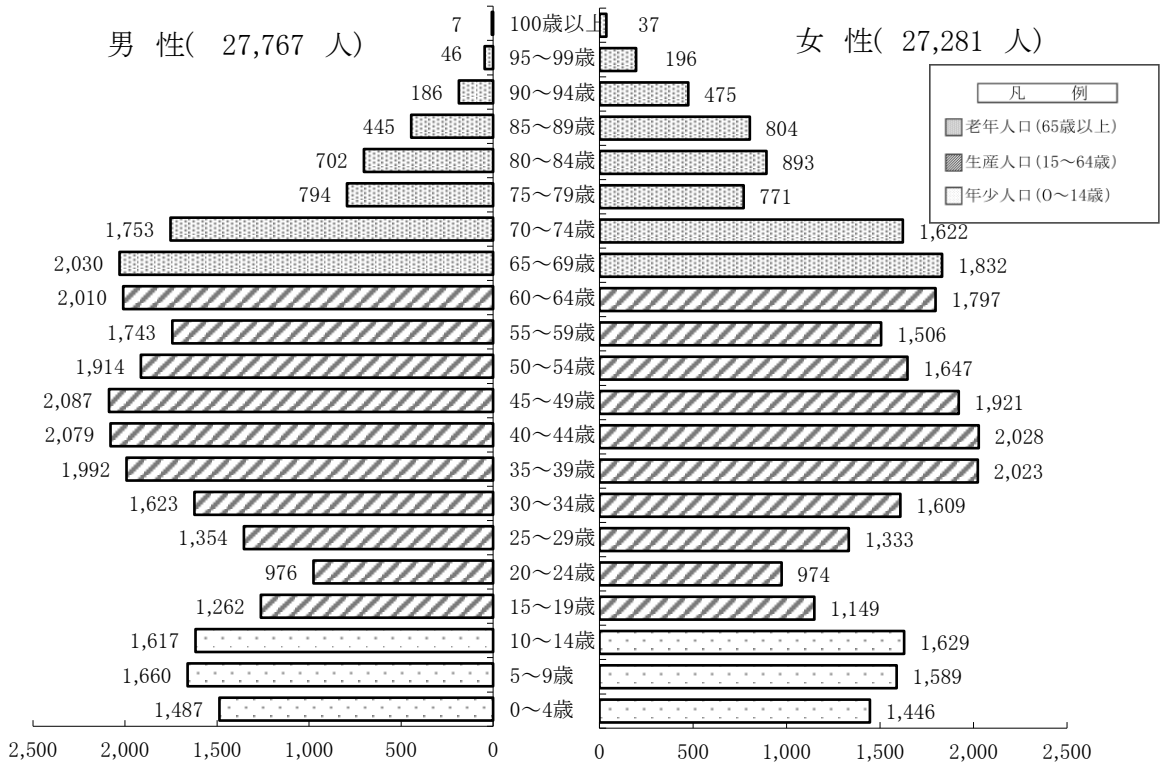


沖縄県の総人口は年々増加しており、管内の市町においては、横ばい状況が続いている

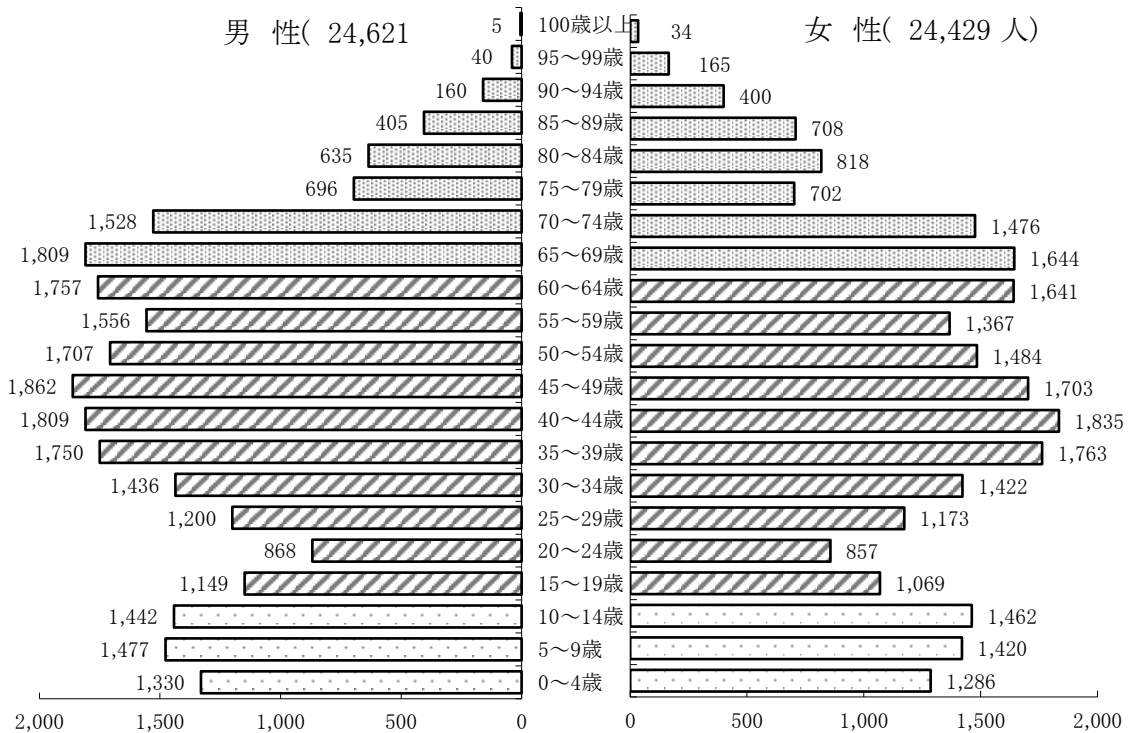
出典：上表と同じ。

(3) 年齢階級別人口構成 (令和3年9月末現在)

ア 八重山管内

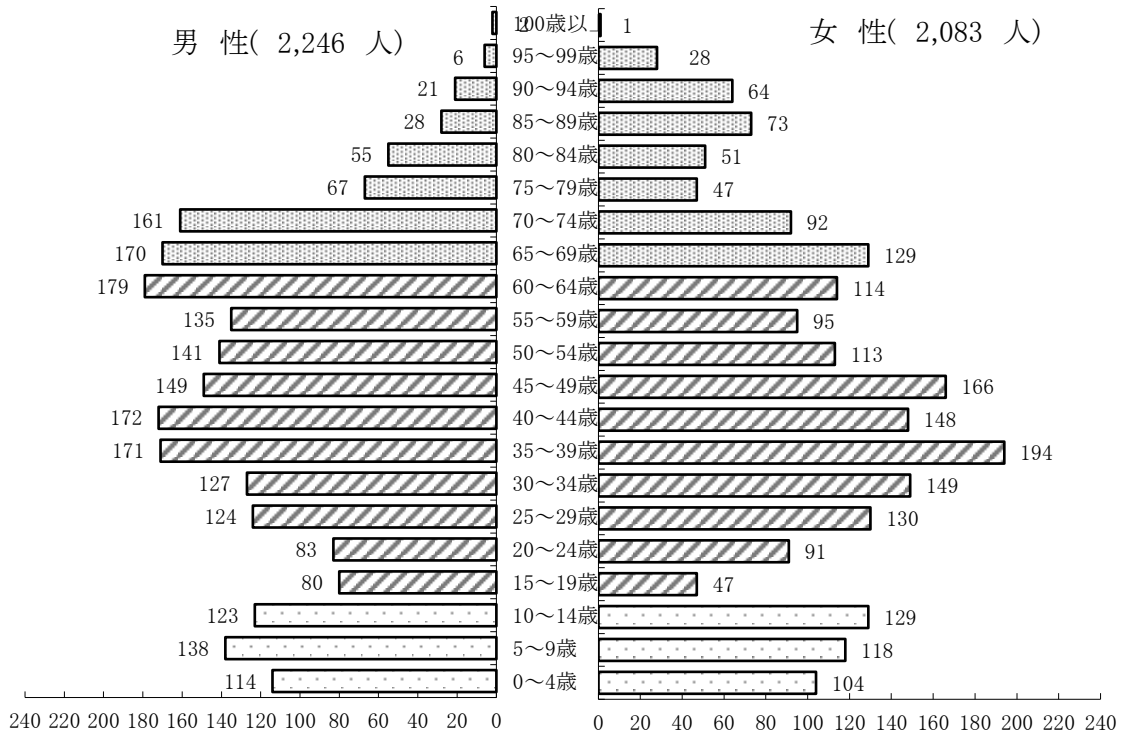


イ 石垣市

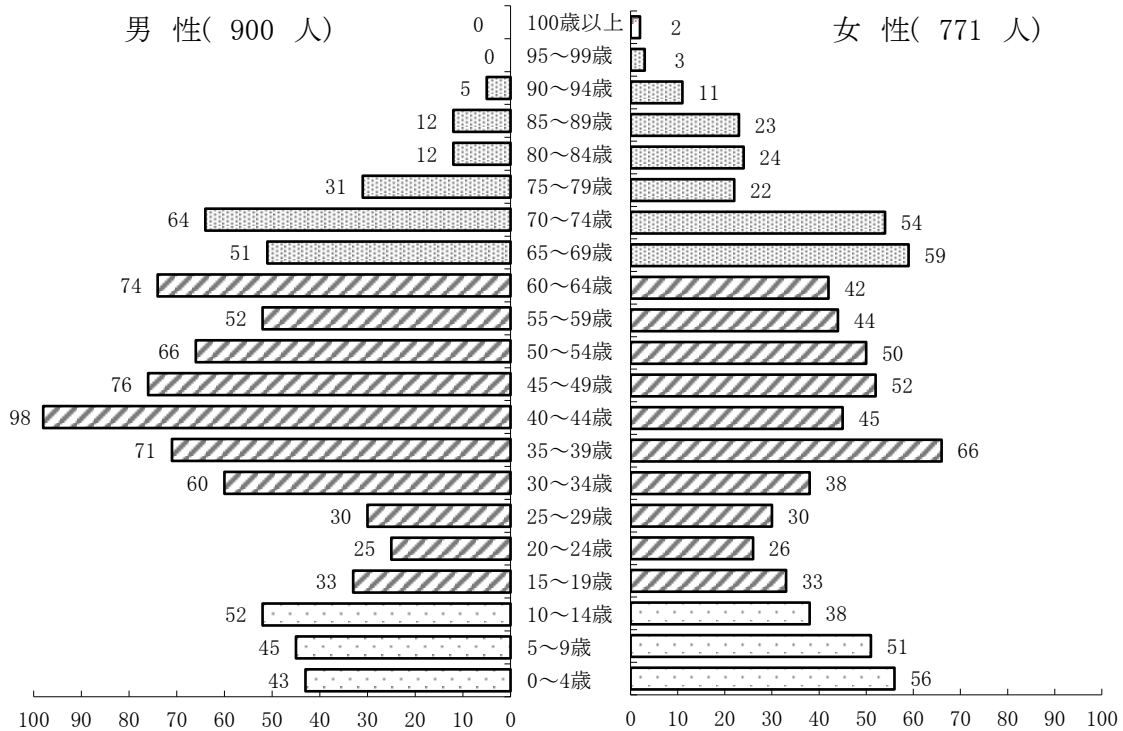


出典：管内人口は、各市町の住民基本台帳データより算出。

ウ 竹富町



エ 与那国町



出典：同左頁と同じ。

## 2 人口動態

### (1) 人口動態統計とは

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の「人口動態事象」について、その実態を明らかにするために、各届書によって作成された人口動態調査票をとりまとめたものである。

#### 用語の解説

自然増加	出生数から死亡数を減じたものをいう。
乳児死亡	生後1年未満の死亡をいう。
新生児死亡	生後4週未満の死亡をいう。
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡をいう。
死産	妊娠満12週(妊娠第4月)以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において心臓はく動、随意筋の運動及び呼吸のいずれをも認めないものをいう。
自然死産と人工死産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに人工的処置(胎児又は附属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用)を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。 1) 胎児を出生させることを目的とした場合。 2) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合。
週産期死亡	妊娠満22週以後の死産と早期新生児死亡をあわせたものをいう。

#### 比率の解説

$$\textcircled{1} \quad \text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{2} \quad \text{自然増加率} = \frac{\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{3} \quad \text{乳児死亡・新生児死亡・週産期死亡・早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\textcircled{4} \quad \text{死産率} = \frac{\text{年間死産数(自然・人工・不明)}}{\text{年間出産数(出産+死産)}} \times 1,000$$

$$\textcircled{5} \quad \text{低体重児率} = \frac{\text{年間低体重児数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

## (2) 人口動態総覧

令和3年

	八重山管内				石垣市			竹富町			与那国町			沖縄県		全国				
	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	実数	率	実数	率		
出生	274	267	541	9.8	249	245	494	10.1	22	16	38	8.8	3	6	9	5.4	14,535	10.0	811,622	6.6
再掲	-	-	62	114.6	25	31	56	113.4	4	1	5	131.6	0	1	1	111.1	1,615	111.1	76,060	9.4
死亡	282	242	524	9.5	249	210	459	9.4	18	22	40	9.2	15	10	25	15.0	13,582	9.3	1,439,856	11.7
再掲	0	1	1	1.9	0	1	1	2.2	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	23	1.7	1,399	1.0
再掲	-	-	1	1.9	0	1	1	2.2	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	12	0.9	658	0.5
死産	-	-	12	21.7	-	-	12	23.7	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	367	24.6	16,277	19.7
再掲	-	-	10	18.1	-	-	10	19.8	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	200	13.4	8,082	9.8
再掲	-	-	2	3.6	-	-	2	4.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	167	11.2	8,195	9.9
周産期死亡	-	-	2	3.7	-	-	2	4.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	46	3.2	2,741	3.4
再掲	-	-	1	1.8	-	-	1	2.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	41	2.8	2,235	2.8
再掲	-	-	1	1.8	-	-	1	2.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	5	0.3	506	0.6
離婚	-	-	295	5.4	-	-	268	5.5	-	-	18	4.2	-	-	9	5.4	7,020	4.8	501,138	4.1
離婚	-	-	149	2.7	-	-	135	2.8	-	-	12	2.8	-	-	2	1.2	3,187	2.2	184,384	1.5

※率は全て千分率(‰)である。

出典：率計算に用いた全国の人口、「人口推計(令和4年9月1日)」(総務省統計局)より。

全国及び沖縄の人口動態総覧実数、「令和3年(2021)人口動態統計(確定数)概況」(厚生労働省HP)より。

管内の人口動態総覧実数、「令和3年(2021)沖縄県人口動態統計(確定数)の概況」(沖縄県HP)より

管内の出生(低体重児)、死亡(新生児死亡)は、「調査票情報(人口動態統計)」(厚生労働省)より算出。

管内人口、「住民基本台帳」(各市町)より。

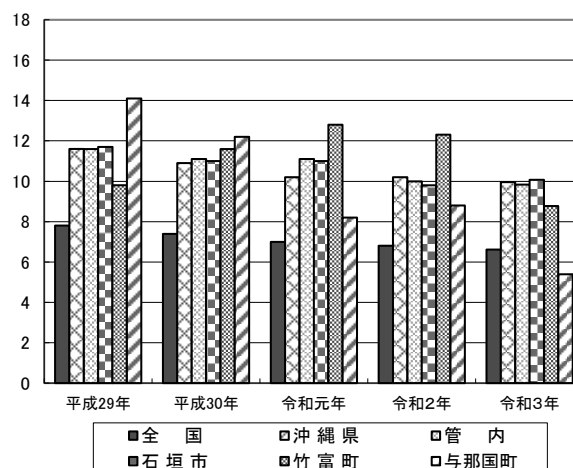
(3) 出生率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	7.8	7.4	7.0	6.8	6.6
沖 縄 県	11.6	10.9	10.2	10.2	10.0
管 内	11.6	11.1	11.1	10.0	9.8
石 垣 市	11.7	11.0	11.0	9.8	10.1
竹 富 町	9.8	11.6	12.8	12.3	8.8
与那国町	14.1	12.2	8.2	8.8	5.4

※率は全て千分率(%)。

出生率=年間出生数/10月1日現在日本人口×1,000

出生率の年次推移



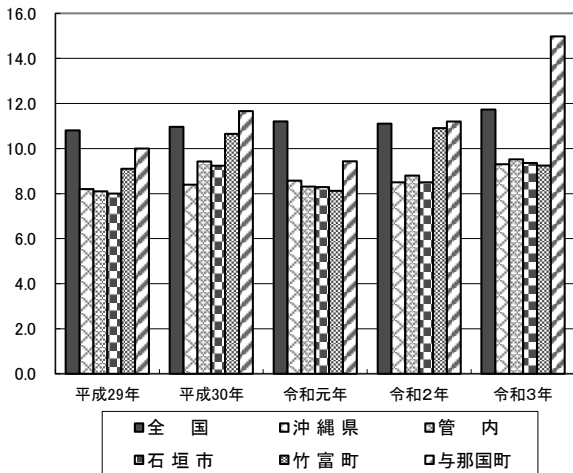
(4) 死亡率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7
沖 縄 県	8.2	8.4	8.6	8.5	9.3
管 内	8.1	9.4	8.3	8.8	9.5
石 垣 市	8.0	9.2	8.3	8.5	9.4
竹 富 町	9.1	10.7	8.1	10.9	9.2
与那国町	10.0	11.7	9.4	11.2	15.0

※率は全て千分率(%)。

死亡率=年間死亡数/10月1日現在日本人口×1,000

死亡率の年次推移



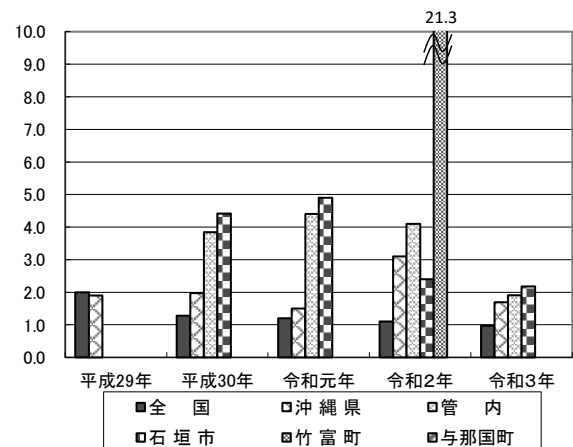
(5) 乳児死亡率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	2.0	1.3	1.2	1.1	1.0
沖 縄 県	1.9	2.0	1.5	3.1	1.7
管 内	0.0	3.8	4.4	4.1	1.9
石 垣 市	0.0	4.4	4.9	2.4	2.2
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	21.3	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(%)。

乳児死亡率=年間乳児死亡数/年間出生数×1,000

乳児死亡率の年次推移



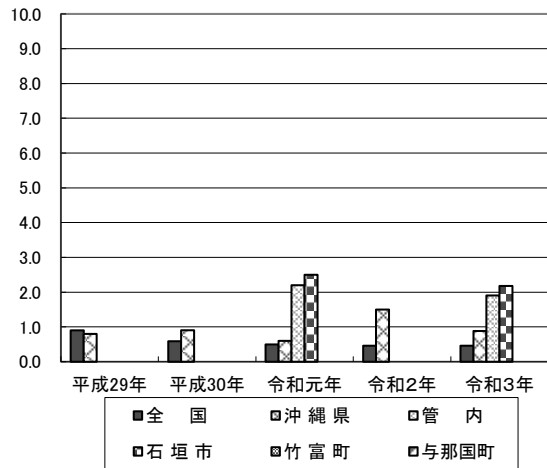
(6) 新生児死亡率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	0.9	0.6	0.5	0.5	0.5
沖 縄 県	0.8	0.9	0.6	1.5	0.9
管 内	0.0	0.0	2.2	0.0	1.9
石 垣 市	0.0	0.0	2.5	0.0	2.2
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(%)。

新生児死亡率=年間新生児死亡数/年間出生数×1,000

新生児死亡率の年次推移



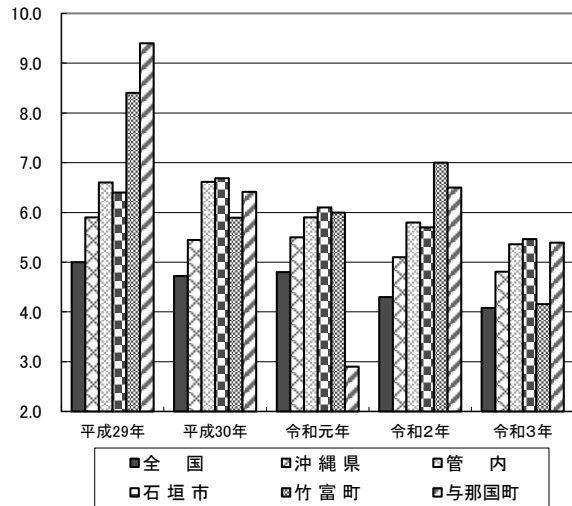
(7) 婚姻率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	5.0	4.7	4.8	4.3	4.1
沖 縄 県	5.9	5.4	5.5	5.1	4.8
管 内	6.6	6.6	5.9	5.8	5.4
石 垣 市	6.4	6.7	6.1	5.7	5.5
竹 富 町	8.4	5.9	6.0	7.0	4.2
与那国町	9.4	6.4	2.9	6.5	5.4

※率は全て千分率(%)。

婚姻率=年間婚姻届出件数/10月1日現在人口×1,000

婚姻率の年次推移



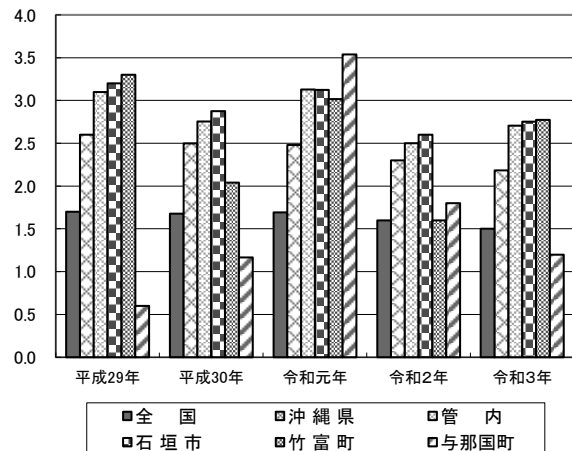
(8) 離婚率の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5
沖 縄 県	2.6	2.5	2.5	2.3	2.2
管 内	3.1	2.8	3.1	2.5	2.7
石 垣 市	3.2	2.9	3.1	2.6	2.8
竹 富 町	3.3	2.0	3.0	1.6	2.8
与那国町	0.6	1.2	3.5	1.8	1.2

※率は全て千分率(%)。

離婚率=年間離婚届出件数/10月1日現在人口×1,000

離婚率の年次推移





### 3 死亡統計

#### (1) 管内の死因順位

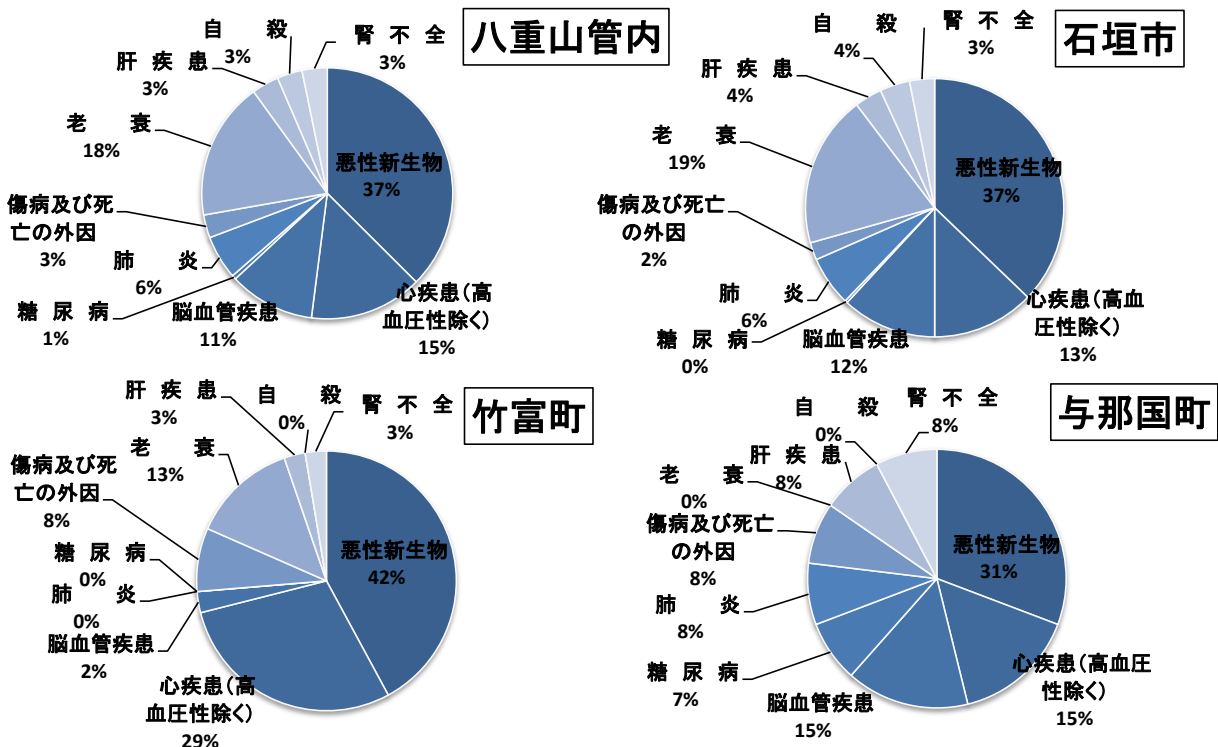
	1 位			2 位			3 位		
	死因	実数	率	死因	実数	率	死因	実数	率
令和3年	悪性新生物	123	23.5	老衰	73	13.9	心疾患	51	9.7
令和2年	悪性新生物	139	26.5	老衰	66	12.6	心疾患	54	10.3
令和元年	悪性新生物	117	25.6	心疾患	52	11.4	老衰	40	8.8
平成30年	悪性新生物	136	26.2	心疾患	70	13.5	老衰	65	12.5
平成29年	悪性新生物	103	23.1	老衰	53	11.9	脳血管疾患	51	11.5

※死因分類表中分類項目を表記

出典：「令和3年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

#### (2) 令和3年市町村別主な死因

	八重山管内			石垣市			竹富町			与那国町		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
悪性新生物	123	75	48	110	68	42	10	6	4	3	1	2
心疾患(高血圧性除く)	51	21	30	43	17	26	4	1	3	4	3	1
脳血管疾患	48	25	23	37	20	17	6	2	4	5	3	2
糖尿病	3	1	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0
肺炎	18	12	6	16	11	5	2	1	1	0	0	0
傷病及び死亡の外因	13	9	4	10	7	3	1	1	0	2	1	1
老衰	73	24	49	68	22	46	5	2	3	0	0	0
肝疾患	9	6	3	8	5	3	0	0	0	1	1	0
自殺	9	7	2	9	7	2	0	0	0	0	0	0
腎不全	16	7	9	14	5	9	2	2	0	0	0	0
計	363	187	176	318	163	155	30	15	15	15	9	6



出典：「令和3年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

#### 4 合計特殊出生率

##### (1) 合計特殊出生率とは

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

##### (2) 算出方法

県の合計特殊出生率と同様に5歳ごとの年齢階級別に算出する。

$$\text{合計特殊出生率} = \left( \frac{\text{母が15歳～19歳の出生数}}{\text{15歳～19歳の女性人口}} + \dots + \frac{\text{母が45歳～49歳の出生数}}{\text{45歳～49歳の女性人口}} \right) \times 5$$

##### (3) 令和3年八重山管内の母の年齢階級別出生数及び女性の年齢階級別出生率

年齢階級	母の年齢階級別出生数				女性の年齢階級別出生率			
	管内	石垣市	竹富町	与那国町	管内	石垣市	竹富町	与那国町
15～19歳	3	3	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
20～24歳	55	51	3	1	0.06	0.06	0.03	0.04
25～29歳	134	126	6	2	0.10	0.11	0.05	0.07
30～34歳	163	156	6	1	0.10	0.11	0.04	0.03
35～39歳	155	130	20	5	0.08	0.07	0.10	0.08
40～44歳	30	27	3	0	0.01	0.01	0.02	0.00
45～49歳	1	1	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
総数	541	494	38	9	0.35	0.37	0.24	0.21

出典：母の年齢階級別出生数、「令和3年人口動態統計保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より  
女性の年齢階級別出生率、「住民基本台帳データ(令和3年9月30日)」(各市町)より。

##### (4) 令和3年市町村別合計特殊出生率

	令和3年	平成25～29年	増減
八重山管内	1.76	2.07	△ 0.31
石垣市	1.84	2.14	△ 0.30
竹富町	1.21	1.63	△ 0.42
与那国町	1.04	1.98	△ 0.94

出典：平成25～29年の数値、「平成25～29年人口動態保健所・市町村別統計」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より。

(参考)

	令和3年
沖縄県	1.80
全国	1.30

出典：「令和3年(2021)人口動態統計(確定数)の概況」(厚生労働省)より。